

教育課程（3歳児）

福山市立緑丘幼稚園

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
期のくくり	1期			2期			3期			4期		
	園生活に慣れ、保育者とかかわりの中で少しずつ生活が安定していく時期			保育者の存在を確かめながら、自分の好きな遊びを見つけて遊べるようになる時期			気の合う友達と一緒にいることを楽しみながら、遊ぶようになる時期			一人一人の生活が充実し、みんなでする楽しさを感じていく時期		
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に緊張や不安を抱いているが、保育者とかかわりやウサギや虫、植物などの身近な環境によって少しずつ安定して過ごせるようになる。 気に入った遊具や玩具で遊んだり、保育者や友達の遊びに関心をもったりするようになる。 初めての集団生活の子どもは、ルールがわからないので、自由奔放に動いているが、保育者に声をかけしてもらいながら、個人差はあるが集団生活のルールがあることに気づくようになる。 			<ul style="list-style-type: none"> 生活の仕方や流れがわかり、保育者に手伝ってもらいながら、身の回りのことをしようとする。 自分のしたい遊びを見つけられるようになったり、遊びを通じて友達のしていることに興味をもったりするようになる。 物の取り合いや思いの違いなどで、友達とぶつかり合うことが増えてくる。 自分の使いたい・やりたい気持ちを行動で示すだけでなく、簡単な言葉や自分なりの言葉でやりとりして遊ぶようになる。 			<ul style="list-style-type: none"> 自分でできることは自分でしようしたり、保育者に教えてもらいながらしたりする姿が見られる。 友達と一緒にいることを楽しみながら遊ぶようになる。 自分の思いや考えを通そうとして、トラブルになることもある。 保育者の仲介のもと、物の貸し借りの仕方がわかり、友達に譲る姿がある。 			<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で、自分でできることは進んで取り組もうとする。 気の合う友達と遊び、いろいろな遊びに興味広がる。 異年齢児とかかわったり、異年齢児のやっていることを見て同じことをやろうとしたりする。 自分の思いをのびのびと表現するようになるとともに、友達の思いも少しずつわかるようになり、一緒に遊びを楽しむ姿が見られる。 		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境や園生活に慣れ、安心して過ごす。 保育者に親しみをもつ。 遊具や玩具・身近な自然に触れて、遊ぶことを楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> 生活の仕方がわかり、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 保育者や友達と遊んだり、一緒に過ごしたりすることを楽しむ。 身近な自然や物に興味をもち、かかわることを楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> 簡単な身のまわりのことを進んでしようとする。 保育者や友達と一緒に遊ぶことの楽しさを感じながら好きな遊びを楽しむ。 全身を使って遊び、体を動かす楽しさを味わう。 身近な自然や物に興味をもち、いろいろなものに気づき、かかわって遊ぶことを楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣が身につく。自信をもつてのびのびと行動する。 大きくなったことを喜び、進級に期待をもつ。 友達とかかわりを広げ、自分の思いを出しながら一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 身近な自然に興味や関心をもち、様々なかかわり方を楽しむ。 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> 保育者に不安を受け止めてもらいながら、新しい生活に慣れる。 自分のクラスがわかり、保育者や友達の顔を覚え親しみをもつ。 保育者と触れ合ったり、一緒に遊んだりする。 したいこと・してほしいことを言葉や表情・動作で伝えようとする。 お気に入りの遊びを見つけ、繰り返し遊びを楽しむ。 草花や虫・飼育物など見たり触れたりして、身近な春の自然に親しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのことを自分でしようしたり、できないことを保育者に伝えたりする。 友達のことに関心をもち、見たり真似たりしながら、一緒に遊ぼうとする。 物の取り合いなど友達とのトラブルのなかで、保育者の仲立ちで自分の思いを表現しようとする。 自分の思いや経験したことを保育者や友達に伝えようとする。 草花・虫・小動物にかかわったり、梅雨期や夏の自然に触れたりして親しむ。 開放感が味わえる遊びを十分楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのことを自分でしようとする。 簡単なルールのある遊びなど友達との活動を楽しむ。 友達とかかわりのなかで、相手の思いに気づく。 同じ場にいる友達と同じ動きをしたり、同じ物を持って遊んだりする。 いろいろな素材を使って作ったり描いたりすることに興味をもち、のびのびと表現する。 ドングリや落ち葉など身近な秋の自然物を遊びに取り入れ、秋の自然に触れたり興味や関心をもったりする。 			<ul style="list-style-type: none"> 自分のペースでしたいことやできることを進んでしようとする。 異年齢児とのふれあいのなかで、憧れの気持ちをもったり大きくなった自分を感じたりする。 感じたことや考えたことをことばで伝えたり、友達の話を聞こうとしたりする。 ごっこ遊びを通して、保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ。 雪・氷・霜柱など冬の自然に触れたり、季節の移り変わりに気づいたりする。 		
保育者のかかわり(□)・環境構成(*)	<ul style="list-style-type: none"> □新しい環境の中で、一人一人が自分なりのペースで少しずつ安心して過ごせるように状況に応じて配慮していく。 □一人一人を温かく受け入れ、どの子どもも安心感がもてるように心掛けて、小さなサインも見逃さないように配慮する。 □好きな遊びが見つけられるように、一緒に遊んだり、興味をもてるような誘い掛けをしたりする。 *安心して好きな遊びができるように、ゆったりとしたくつろげる空間づくりをする。 *新しい環境の中で活動範囲を広め、のびのびと安全に過ごせるように環境整備をする。 *園庭の自然に触れてあそべるよう、子どもの視野に入る環境を整える。 			<ul style="list-style-type: none"> □園生活に慣れてくるが、疲れがたまって不安定になりやすい時期なので、一人一人のペースを大切に、自分なりに取り組めるように援助したり、できた喜びや自信がもてるようにしたりする。 □保育者も一緒に楽しく遊び、近くにいる友達や保育者とかかわる楽しさが味わえるように支える。 □物の取り合いなどのトラブルが出てくるので、互いの気持ちを受け止めたり、代弁したりして、状況に応じて仲立ちをしていく。 *子どもの興味を捉え楽しめるような材料や用具、やりたい時にできる時間や場、遊具の数を用意する。 *気温や湿度の変化により疲れが出やすい時期なので、熱中症を予防できるよう体調管理をし、水分補給を促したり、快適に過ごせる場の工夫をする。 *身近な自然物をクラスに置き、触れられる環境を工夫する。 			<ul style="list-style-type: none"> □身の回りのことを自分でやろうとする気持ちを認めたり、少し手伝ったりしながら、子ども自身のやる気を引き出し、満足感が味わえるようにする。 □友達とのトラブルでは、一人一人の思いを出し合えるように仲立ちをし、相手の気持ちに気づけるような声かけをする。 □簡単なルールのある遊びを取り入れ、保育者も遊びに参加し遊びが広がるきっかけをつくり、友達と共感し合える場面を大切に作る。 *一人一人の興味や関心に合わせて遊びに使う物を自由に使えるように、いろいろな遊具や材料、用具を用意する。 *友達と体を動かす心地よさを感じられるよう、場や用具を準備する。 *身近な自然や物に十分かかわって遊べるように、素材の量や置く場所を配慮する。 			<ul style="list-style-type: none"> □自分でできるようになったことや、大きくなった喜びが味わえるように、自分なりに取り組んでいる姿を見守ったり、子どもの気持ちに共感したりする。 □異年齢の遊びを保育者も一緒に楽しみ、異年齢の優しさを伝え、憧れの気持ちや進級への期待がもてるようにする。 □みんなでする遊びを取り入れて、友達と一緒に遊ぶ楽しさが十分味わえるように、保育者も一緒に遊んだり、必要に応じて友達の思いを代弁したりする。 *遊びに必要なものを用意しておき、自分達で使えるようにしておく。また、遊びによっては、声をかけ合ったり、順番に使ったりできるように素材や用具を少なめにしておく。 *暖房・換気・寒さへの対応をするなど、安全・健康な環境に配慮する。 		

